

ちめいどうだより



基本理念

地域の皆様の健康と生命を守り、心のこもった医療と福祉を提供できる施設



撮影者：田原 智

＜＜目次＞＞

- *1 頁 表紙 『雪、もみじ』 *2 頁 ちめいどうまつり 2025 開催！
- *3 頁 総合消防訓練を実施しました！ *4 頁 NHK 新潟放送局 木花アナウンサーが大関和の取材に来られました 『くびきのだより』
- *5 頁 講演会『地域の命を支える医療・看護・介護 上越圏域の多職種連携・本気で！』に参加して *6 頁 門野部長 『日本の医師養成の歴史8』
- *7 頁 訪問看護ステーションだより *8 頁 外来診療担当表



YouTube 始めました！



お手持ちのスマートフォン等で
QRコードを読み込むと YouTube が
見られますよ！ぜひご覧ください！
チャンネル登録もぜひお願いします！！

または

医療法人知命堂病院 YouTube



で検索！

医療法人 知命堂病院

〒943-0834 新潟県上越市西城町 3-6-31
TEL 025-523-2161 FAX 025-526-1511

併設 訪問看護ステーション HP はこちら！
介護老人保健施設 くびきの
指定居宅介護支援センター
地域包括支援センター たかだ



ちめいどうまつり 2025 開催！

10月11日土曜日に「ちめいどうまつり 2025」を開催しました。今回は、来春放映されるNHK朝の連続テレビ小説「風、薫る」のヒロインのモデルとなった大関和に関する展示を中心に、ご来場者に喜んでいただけるいろいろなイベントを企画しました。「風、薫る」効果で、様々なメディアから紹介していただき、例年の2~3倍の方々にご来場いただきました。後援していただいた上越市及び栃木県大田原市（大関和の故郷）からも職員様にご参加いただき、今後のご連携について、意見を交換しております。

病院の紹介も兼ねて設置した健康チェック・相談コーナーにも多くの方が訪れていただき、計測数値に一喜一憂、配置した職員に相談をする場面も多く見られました。イベントステージでは、ボランティア参加の皆さんから、チアリーディング、合唱・ゴスペルコンサート、ベリーダンスが披露され、会場を沸かせていただきました。お子様連れのご家族には、キッズコーナーや「チチナース＆チチドクター」（記念撮影）が人気でした。また飲食物のお店、フリーマーケットも多数出店していただいて、お祭り気分を盛り上げていただきました。

このような取り組みを通じて、地域の皆さんに病院を知っていただけるように今後とも努力して参ります。

当日の様子



上越市・大田原市来院



『大関和』展



作品展示



キッズコーナー



チチナース＆チチドクター



健康相談



チアリーディング



ゴスペル



ベリーダンス



フリーマーケット



キッチンカー



2025年度 第2回 防災訓練 「総合消防訓練」を実施しました！

知命堂病院では毎年2回、火災を想定した防災訓練を実施しています。

今年度2回目の訓練を11月5日水曜日に「介護老人保健施設くびきの」で行いました。
上越消防署のご協力で、本番を想定した合同訓練を実施していただきました。

1 通報（自動通報）

実際に火災報知器を作動させました。



2 初期消火

「消火器」を持ち寄り、その後は「消火栓」（正式名：補助散水栓）も使います！

消防隊到着

実際には5分程度で駆けつけてくれます。



本部設置

「水槽付きポンプ車」が実際に放水。



応援職員が到着

病院・訪問部門の職員が駆けつけました。



3 避難誘導





全体講評



古川副署長より「煙」の怖さについて訓示をいただきました。



消火栓訓練



専門業者より説明いただき、実際の放水訓練を行いました。

これからも地域の皆様の健康と生命を守るべく日頃からの努力を続けていきます。

NHK 新潟放送局 木花アナウンサーが 大関和の取材に来られました

10月1日にNHK 新潟放送局 木花牧雄アナウンサーが、次回のNHK朝の連続テレビ小説「風、薫る」のモデルになった大関和について取材に来られました。当法人からは、理事長と助っ人にお二人の元看護部長をお呼びしてこの取材に対応いたしました。木花アナは、残っている写真や資料、理事長と元看護部長の話を興味深く見聞きしておられました。今後、番組等で取り上げていただけることを期待しております。

取材に関係して下さった皆さまありがとうございました。



講演会 「地域の命を支える医療・看護・介護

～上越圏域の多職種連携・本気で！～」に参加して

地域医療介護連携センター 滝本浩子

皆さん、医師・作家である鎌田實先生をご存じでしょうか。先生は東京医科歯科大学医学部を卒業後、長野県の諏訪中央病院に赴任され30代で院長に就任し赤字病院を再生し、地域包括ケアの先駆けとなった方です。現在は諏訪中央病院の名誉院長ですが、テレビに出演されたり多くの書籍を発行されたりしてとても活躍されています。

その鎌田先生の講演会が2025年11月3日にリージョンプラザ上越で開催されました。「地域の命を支える医療・看護・介護～上越圏域の多職種連携・本気で！～」というタイトルで医療関係者や福祉従事者ら約200人が参加しました。新潟県内の病院や施設が赤字経営である現状と上越圏域において介護職員が2020年から10年間で3.3万人減少すると推測されていることから、厳しい状況を乗り切るために病院ごとの機能連携、医療と福祉の連携が必要だとお話がありました。また、鎌田先生の在宅医療に携わった体験も紹介され、多職種が連携することで患者や家族との信頼関係が生まれたと振り返られました。

この貴重な講演後に、鎌田先生と上越地域の行政、病院、施設の保健師、看護師、社会福祉士によるパネルディスカッションが行われ、そのパネリストに参加させていただきました。各々の現状と問題点、今後の課題を発表し鎌田先生からご意見をいただきました。病院、施設は与えられた役割があり、その役割を果たす努力は行っているが、財源や人材などの問題があり、市だけでは難しい問題を県と協働し上越がモデルとなって地域医療を行っていくこともできるのではないかと言われていました。地域医療となると病院、施設だけでなく在宅を視野に入れていくため、ケアマネージャーや訪問看護、訪問介護との連携が必要になりますが、後継者問題が深刻な問題でもあり、圏域全体で取り組む必要があると感じました。

現職の介護職は医療職との連携に敷居の高さを感じているとの話がありました。患者、家族に寄り添うためには、上下の関係ではなく、同じ立ち位置で働きかけていかなければならぬため、相手が求めている事を共に連携していくような関係作りをしていきたいと思っています。



今回の講演会と併せ来春から放送の連続テレビ小説「風、薫る」のモチーフとなった知命堂病院初代看護婦長の大関和さんの写真を展示しました。「大関和」展は10月11日に開催された「ちめいどうまつり」でも掲示され大勢の方に来場いただきました。看護婦の礎を築いた方でもあり上越を知るきっかけになってくれたら嬉しいです。

最後に、パネリストは初めての体験でとても重荷に感じていましたが、講演会のタイトルでもある「地域の命を支える医療・看護・介護」は多職種連携がとても大切だとあらためて考えさせられた機会でもあり参加させていただき良かったと思っています。パネリストとしては役不足でしたが、機会を下さった主催の県病院局さま、JA新潟厚生連さま、また、後援の大王製紙株式会社さまに感謝いたします。鎌田先生のパネルディスカッションは今回が初回と聞いておりますが、今後も継続され上越圏域の多職種連携が強化されることを望んでいます。



日本の医師養成の歴史

【第8回】明治期以降の公立・私立医学校の存亡

内科部長 門野 聰

明治10年代には、計44校の公立（府県立）医学校が設立されていました。公立医学校を持たない都道府県は5（東京、神奈川、滋賀、奈良、沖縄）であり、複数有するものは2（大阪・堺、福岡・北九州）でした。しかし、明治20年勅令により、公立医学校の費用を地方税から支弁することが禁じられ、財政的にゆとりのある大阪、京都、愛知の公立医学校のみ存続（阪大医、京都府立医大、名古屋大医の前身）することができ、残りの医学校のほとんどは廃止され（明治19年中学校令をもとに全国5校の高等中学校が設置され、明治20年に医学部が付設された結果、千葉、宮城、岡山、金沢、長崎の公立医学校が第1～第5高等中学校医学部となり存続した）、その多くが病院として存続しました。その詳細は、明治21年以降も医学校として存続し、現在の医科大学につながるものが8校（千葉、宮城、岡山、金沢、長崎、大阪、京都、愛知；上述の第1～第5高等中学校医学部と財政的ゆとりのあった3自治体）あり医療機関として存続し、その後医科大学の礎となったのが9校（岩手、福島、新潟、岐阜、三重、神戸、福岡、熊本、鹿児島）あります。医療機関として存続し、現在でも病院であるものが17院あり、そのうち公立病院が8院（函館、山形、須賀川、山梨、広島、北九州、佐賀、大分）、赤十字病院が8院（富山、福井、長野、和歌山、鳥取、松江、高松、松山）、民間病院が1院（高知）です。医学校としても医療機関としても廃止されたものが11校（青森、秋田、茨城、栃木、群馬、埼玉、浜松、堺、華浦、徳島、宮崎）です。

（注：須賀川は福島へ移転したため2か所となっている）

一方、官立（国立）医学校は明治32（1899）年、京都帝大医科大学設立（長谷川泰の提言による）が東大に次ぐ2校目、次いで明治44年九州帝大医科大学、明治45年東北帝大医学専門部（仙台医学専門学校から移管）が設立し、明治期4校体制となりました。大正8年北海道帝大医学部新設、昭和6年大阪帝大医学部（府立医大から移管）、昭和14年名古屋帝大医学部（県立医大から移管）が設立し、戦前の7帝大体制となりました。前出の第1～第5高等中学校医学部（宮城を除く4校）は、官立高等学校医学部→官立医学専門学校→官立医科大学へ昇格し（大正9年大学令による）、昭和4年官立熊本医科大学（県立医科大学から移管）と以下に述べる新潟医科大学の計6校の官立6医科大学体制となりました（大正末）。さらに大東亜戦争直前から終戦にかけて医師不足（特に軍医）が深刻となり、多数の医学専門学校が設立されましたが、その多くは終戦時に廃校となりました。戦後存続したのは弘前、群馬、東京科学（前東京医科大学歯科）、信州、鳥取の戦後新制大学です。（注：公立で上述の9校（※）の中で旧制医大となった新潟、熊本以外の7医学校と戦時中設立された名古屋市立女子（現名古屋市立）、徳島、横浜市立、大阪市立、山口、北海道立女子（現札幌医大）、奈良、和歌山、広島の各市立、県立、道立医学専門学校が戦後も存続した。）

本県、新潟大学医学部の沿革は明治9年県立新潟病院医学校として開校、明治12年県立新潟医学校（乙種医学校、校長は前出の山崎元脩）、明治16年県立甲種新潟医学校（卒業生は無試験で医師免許取得）、明治21年、上記の事情から学校廃止、明治43年官立新潟医学専門学校開設、大正3年第1回卒業生51名、大正11年新潟医科大学へ昇格（大正9年の大学令による）。一旦学校廃止後復活して旧制6医大の1つとなりました。第3代院長の森川政三は官立新潟医学専門学校大正4年卒業で、母校の耳鼻咽喉科助教授に就任した後、大正10年知命堂病院初代耳鼻咽喉科医長就任。昭和3年、瀬尾原始院長（瀬尾雄三死去により再度院長となった）の意志により、病院を高田市に寄付し、市営病院として継続を望みましたが実現されず、昭和4年社団法人知命堂病院として更生し、森川政三が病院長兼理事長に就任しました。

以上が明治・大正・昭和初期の公立医学校の存亡にまつわる逸話ですが、いずれの学校もドイツ医学を模範とし、ドイツの制度をまねた医局講座制を取り入れた運営がなされ、その伝統は良きにつけ悪しきにつけ現在の医局制度として受け継がれました。

次に私立医学校の歴史について概説します。明治20年までには、東京だけでも約20の私立医学校が設立されました。明治20年以降も存続したのは済生学舎と成医会講習所のみとなりましたが、明治期医師養成に極めて重要な役割を占め、日本医学史上重要な医師を多数輩出しています。次回は私立医学校の興亡について解説予定です。



第3代院長 森川政三

訪問看護ステーションだより



お薬管理の強い味方

服薬カレンダーについてのお話



寒さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は服薬カレンダーについてお話させていただこうと思います。高齢者の多くは複数の病気を抱え、薬が処方されています。厚生労働省の調べでは、処方薬1種類では約42%、6種類以上では約65%で飲み忘れが生じています（厚生労働省、2015）。そのため、服薬管理は重要な訪問看護サービスの一つとなっています。そこで、飲み忘れのないよう手助けをしてくれるものが、服薬カレンダーになります。色々なタイプのものが薬局や介護専門店で販売されています。薬を曜日や時間ごとにポケットに入れて整理することができ、飲み忘れを防ぐのに役立ちます。また、壁に掛けて使用でき、目の付きやすい場所に置くことで服薬の管理がより効果的になります。ご本人を含め、ご家族やヘルパーさんなど、他の人から見ても、飲み忘れがあれば一目瞭然ですので、服薬状況が把握しやすいです。

訪問看護では看護師がお薬を服薬カレンダーにセットすることもできます。飲み忘れない、正しく服用できることは、健康の維持につながり、快適なご自宅での生活につながります。

ぜひ活用してみてはいかがでしょうか。

○知命堂病院訪問看護ステーションは、病気や障害を持った方が安心して生活できるようお手伝いさせていただきます。お困りごとなどありましたら、いつでもご連絡ください。



厚生労働省(2015), 第311回中央社会保険医療協議会総会資料, 薬剤使用の適正化等について, <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku-0000103301.pdf>(2019-8-30 参照)

(医)知命堂病院 診療担当表

外来診療

2025年12月1日

			月	火	水	木	金
内 科	午 前	1 診(再来)	門野	森川	石橋	森川	石橋
		再来・予約	森川 (予約制)	永井	門野	阿部	森川
		新患・予約外	石橋	門野	門野	阿部 第3:永井	森川
	午 後	新患・予約外	門野	石橋	石橋	第1・3・5 13:30~15:00 血液・一般 永井 第3:阿部	永井
脳神経内科	午 後	3 診(再来・新患)				第2・4 14:00~15:00 完全予約制 県中病院医師	
外 科	午 前	5 診(再来・新患)	武藤	武藤・藤田 隔週	藤田	武藤	藤田
		2 診(呼吸器心臓血管)			第1・3 矢澤		
	午 後	急患	藤田	武藤	13:30 ~15:00 乳腺 武藤	藤田	藤田
整形外科	午 前	4 診(再来・新患)					10:00~12:00 完全予約制 県中病院医師
泌尿器科	午 前	再来・新患		9:00 ~11:30 新屋	9:00 ~11:30 新屋		9:00~11:30 新屋
	午 後			13:30 ~15:00 新屋			13:30~15:00 新屋

内視鏡検査

		月	火	水	木	金
内 視 鏡		胃カメラ	藤田			

診療時間 9:00~17:00 (月曜日から金曜日)

外来診療受付時間 8:30~11:30 (医事課窓口)

面会時間 10:00~12:00 15:00~20:00 **※現在、制限を設けて面会を実施しています。**

休診日 土曜日・日曜日、祝日、お盆(8月15日、16日) **最新の情報はホームページをご覧ください。**

年末年始(12月30日~1月3日)

※ただし、急患の場合はこの限りではありません。

☆看護師・介護員募集☆

~地域医療の一翼を担う私たちと一緒に働きませんか~

看護師: 夜勤可能な看護師

介護員: 介護福祉士、ヘルパー2級以上(初任者研修)

勤務場所: 知命堂病院または介護老人保健施設くびきの

問い合わせ先: 電話(代表) 025-523-2161 事務長





くびきのだより Vol.20

Merry Christmas



行事の紹介

もみじ幼稚園からの可愛い訪問者

10月と11月に、もみじ幼稚園の園児さんが慰問に来てくれました。とても可愛かったです。



祝 百寿 入所者さん敬老会



敬老会では、ご長寿の入所者さんに感謝状を贈呈しました。



ちめいどうまつり作品展示



上記行事について知命堂病院
YouTubeチャンネルで配信
しています。
ぜひ、チャンネル登録をお願いします。



QRコード

医療法人知命堂病院 介護老人保健施設くびきの
TEL 025-526-2161 FAX 025-526-1156
【HP】 <https://www.chimeido.jp>
【メール】 kubikino@chimeido.jp

(2025年12月発行)



パンフレットを作成しました。

介護のことでお困りの方に向けたパンフレットを作成しました。今後は、連携施設様に置いていただけるよう配布させていただく予定です。

医療法人知命堂病院 介護老人保健施設 くびきの



家族の介護負担が
大きくなってきた

利用料金って
いくらかかるの？

老健施設って
どんなところ？

退院後、自宅での
生活が不安



どのタイミングで
介護サービスを
利用するの？

こんな お悩み

私たちにご相談ください！

ご利用いただける方

- ・通い（通所リハビリテーション）：要支援1～要介護5の方
- ・泊まり（入所・ショートステイ）：要介護1～要介護5の方



＼お問い合わせはこちちら／



025-526-2161

『チラシを見た』と
お伝えください

施設の様子はこちちらから



窓口：介護老人保健施設くびきの 支援相談員
〒943-0834 上越市西城町3丁目6番31号

「お楽しみメニュー」ご紹介

お食事は楽しみ！そして健康への第一歩。



上生菓子はお月
見、菊、うさぎの
3種。かき餅も
あり喜ばれまし
た。



敬老会は、赤飯と
金目鯛煮つけ。お
やつに紅白饅頭で
した。